

## 病院案内

診療科目：精神科 神経科 病床数：230床

診療時間	(受付時間)	月	火	水	木	金	土
9:30~	9:00~11:30	○	○	○	○	○	○
14:00~	13:30~15:30	○	○	--	○	--	--

※休診日：水・金・土曜日の午後 日曜日・祝祭日 年末年始・お盆

※面会時間 9:30~16:30

### ☆お知らせ

メンタルホスピタル鹿屋では、地域での講演、事業所でのメンタルヘルスに関する講演、うつ病などの研修会等お引き受けいたしております。  
お気軽にご連絡ください。

☆予約については  
初診と木曜日午後  
第1週目土曜日  
児童思春期外来



令和5年4月1日

## 診療実績

2022年度	外来患者数	初診	1日平均 外来数	月入院数	月退院数	平均入院 患者数	平均在院 日数
1月	1,666	83	72.4	19	28	208.5	275.0
2月	1,628	77	74.0	24	23	206.0	245.4
3月	1,804	87	69.4	32	23	210.7	237.5
認知症関連：20.3 (3ヶ月平均)				病床稼働率：90.5% (3ヶ月平均)			

### 認知症疾患医療センター

専門医療相談窓口 ☎ 0994-36-1870

受付時間：午前9時~午後5時 月~金

(祝日、年末年始を除く)

連携担当員：西迫

主な役割

- ☞ 認知症疾患に関する専門医療相談
- ☞ 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ☞ 合併症・周辺症状への急性期対応
- ☞ かかりつけ医等への研修会の開催
- ☞ 認知症疾患医療連携協議会の開催

### 編集後記

寒さが和らぎ、暖かい日も増え、過ごしやすくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。新年度開始に伴い、環境が大きく変化して新しい生活を迎えられる方、特に変化なく生活される方など様々であると思います。わたくし自身、新年度を迎えるにあたり、心身ともに健康である為に、花見、外食、旅行等、今までコロナ禍で出来なかった事を思う存分楽しみたいと思っています。もちろん、感染防止に留意しエンジョイできればと考えています。皆様も、コロナ禍で出来なかった皆様なりのワクワクする様な楽しみ方を探してみたいはいかがでしょうか。



メンタルホスピタル鹿屋

〒893-0037  
鹿児島県鹿屋市田崎町 1043-1  
☎ 0994-42-3155 fax0994-42-3156

# おおすみ 四季いろどり



(医療理念)

1. 地域で必要とされる医療機関を目指し、良質な医療を提供します
2. 患者さん中心としたチーム医療をおこないます
3. 全職員は最良(最善)の医療を提供するために常に自己研鑽します



(基本方針)

1. 精神障害者に対して、救急・急性期治療をはじめとする医療を提供するとともに、リハビリテーションの実施をはじめとする各種社会復帰のための支援を行うことで、公衆衛生の向上を図ります
2. 生活困難者に対し、無料または低額な診療を提供することで、公衆衛生の向上を図ります
3. 地域住民を対象にした予防措置や治療方法等の普及・啓発の実施、各種相談への対応を行うことで精神科医療への理解促進と地域の福祉向上を図ります
4. 精神科医療の担い手確保を視野においた医療従事者の養成および再教育を図ります

(患者さんの権利と責務)

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互関係の下で医療を受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見直しなどについて、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方針などを自らの意思で選択する権利があります。
5. 自分の診療記録の開示を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされない権利があります。
7. 良質な医療を実現するためには、医師をはじめとする医療提供者に対し、患者さん自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
8. 納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する責務があります。
9. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、患者さんは、他の患者さんには、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責務があります。

## CONTENTS

No.38 2023年4月号  
公益社団法人 いちじょうの樹  
メンタルホスピタル鹿屋

- ・感染症対策におけるマスク着用についてのお知らせ
- ・認知症疾患医療センターだより
- ・地域研修報告
- ・アルコール使用障害への取り組み
- ・インフォメーション
- ・その他

## ☆感染症対策におけるマスク着用についてのお知らせ

当院での「マスク着用の見直し等について」お知らせします。

厚生労働省より、令和5年3月13日(月)から「個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることが基本」を尊重し、当院では本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう努めてまいります。なお、以下の場面ではマスクの着用が**推奨**されます。

### ●マスク着用が効果的な場面（高齢者等重症化リスクの高い方等への感染予防）

1. 医療機関を受診するとき
2. 高齢者等重症化リスクが高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等へ訪問するとき
3. 通勤ラッシュ時等混雑した電車・バスに乗車するとき  
(概ね全員の着席が可能である新幹線・高速バス等を除く。)
4. 新型コロナの流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行くとき

### ●症状がある場合（周囲への感染予防）

症状がある方、新型コロナの検査陽性の方、同居家族に陽性者がいる方が通院等やむを得ず外出するとき

◆当院では引き続き感染防止対策に努めて参りますので、ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。

## 🌻 認知症疾患医療センターだより 🌻

### 【令和5年度「いちよの会（認知症家族会）」年間予定】

<日程>奇数月第2水曜日 14~15時

(5/10、7/12、9/13、11/8、1/10、3/13 ※変更になる場合があります)

<場所>メンタルホスピタル鹿屋 会議室

<対象>当院通院中の患者様とご家族、介護に携わる方

<内容>当院職員によるミニ講話

参加者同士のサロンタイムなど

#### <ミニ講話のテーマ>

- ・介護保険制度について
- ・当事者の思い、家族の思い
- ・対応の仕方や寄り添い方について
- ・認知症の周辺症状について 等

### 【認知症疾患医療センター 出張相談】

認知症の早期治療・早期支援への啓発活動として・・・

地域の集まりや介護施設等へ認知症の方やご家族に向けた出張相談に

当センター職員がお伺いします。詳しくは担当職員までご相談ください。

お問い合わせ ☎ 0994 - 36 - 1870 / 担当 西迫

## ●地域研修報告

令和5年2月22日、自立支援センターかやの郷からご依頼があり、職員の方を対象に「精神障害を持つ人の理解と就労支援」をテーマにして当院職員1名を派遣し、研修を行いました。研修は障害の特性やそれに合わせた環境の整え方、工夫や配慮について例を挙げながらお話をさせていただきました。

質問も多く頂戴し、就労支援施設と病院での支援等の意見交換を行う機会にもなりました。



※当院では地域や事業所での研修会等をお引き受け致しております。お気軽にご相談ください。

## アルコール使用障害への当院の取り組みについて

「わかっちゃいるけどやめられない」

有名な歌の歌詞です。正直なところ、このようなテーマで引用してよいものか悩みましたが、アルコール依存症の方が悩み、苦しんでいる心境を表現した文章なのではないかと個人的には思い、引用させて頂きました。

アルコール依存症とは、反復的な飲酒により徐々に飲酒量が増え、飲酒コントロールの喪失に至ってしまうもので、飲酒する人なら誰でもなりうる可能性のある病気です。アルコールに起因する問題をアルコール関連問題と言い、健康面のみならず社会生活へも大きな影響を及ぼします。

当院では医師の指示のもと入院、外来のアルコールミーティングを行っております。アルコールミーティングの内容といたしましては「今までのアルコール使用にあたってのふりかえり」や「アルコールの身体への影響」、「今後の目標や変化の為の計画」、「退院後のアルコールへの対処の仕方」など多岐に渡ります。

依存症について正しい知識を学び、適切な対処方法を身に付けることが今抱えている問題を克服し、健康で落ち着いた生活を取り戻すことにつながります。また、同じ悩みを抱えたメンバー同士との情報共有は自分を客観的に理解でき、回復に向けての一步を踏み出す支えとなる事と思います。

又、依存症は意志が弱いといった誤解をされている方も少なくないと思います。依存症は脳の病気です。

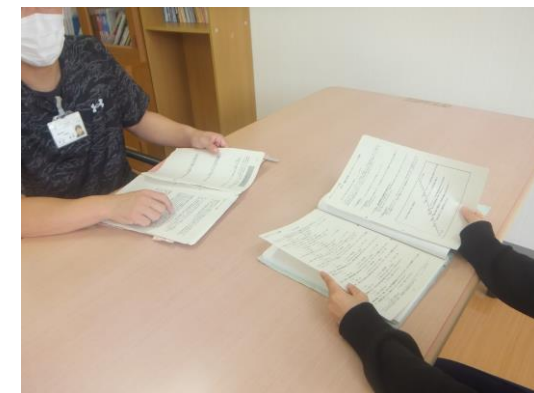
その為、「お酒が飲みたくなったらどのように対処しようか？」という対策が必要となります。

また、アルコール関連問題で悩みを抱えたご家族同士が情報交換、情報共有し合い適切な対応ができるように家族会も行っております。

- ① 病気の理解を深めてもらう
- ② 問題解決の糸口を見つける
- ③ ご家族の役割について話し合う

を目的に正しい知識や対処法を学ぶ機会として様々なテーマに沿って運営しています。

近年はコロナ禍であり運営はできておりませんが、今後、開催について検討している所であります。



### 「強くなるより賢くならう」

アルコールでお困りの方、是非一度ご相談ください。

※現在の飲酒習慣や量が適切なのか、健康被害や日常生活への問題がある飲み方なのかについて“飲酒習慣スクリーニングテスト (AUDIT)”というものがあります。気になる方はスマホ、PC等で調べてみてください。

### ☆ 節度ある適度な飲酒 主な種類の換算目安

お酒の種類	ビール	清酒	ウイスキー ブランデー	焼酎(35度)	グラスワイン
量	中びん1本 (500ml)	1合(180ml)	ダブル(60ml)	1合(180ml)	1本(120ml)
アルコール度数	5%	15%	43%	35%	12%
純アルコール量	20g	22g	20g	50g	12g

参考資料：健康日本21（アルコール）引用